

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2009-79825(P2009-79825A)

【公開日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2007-249081(P2007-249081)

【国際特許分類】

F 24 F 11/02 (2006.01)

F 24 F 13/20 (2006.01)

【F I】

F 24 F 11/02 104 A

F 24 F 11/00 401 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月18日(2009.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可動式センサーと可動式センサー保持部品とを備え、これらが本体に取り付けられて前面パネルから外部に臨んでいる空気調和機において、

前記可動式センサー保持部品の一部を薄肉化し、その薄肉部の内側にリモコン受信部品を設けたことを特徴とする空気調和機。

【請求項2】

前記可動式センサー保持部品は、凹状底部に位置する窓部と、該窓部から両側に向かって前面側に傾斜する傾斜面と、該傾斜面の両側に位置する薄肉部とを有し、前記可動式センサーはそのセンサー部が前記可動式センサー保持部品の前記窓部から外部に臨んでいることを特徴とする請求項1記載の空気調和機。

【請求項3】

前記可動式センサー保持部品の傾斜面は、前記可動式センサーのセンサー部の最大検知範囲と一致するように形成されたことを特徴とする請求項2記載の空気調和機。

【請求項4】

前記可動式センサーに駆動モーターを取り付けてこれらを前記可動式センサー保持部品で保持したことを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の空気調和機。

【請求項5】

前記可動式センサーに駆動モーターを取り付けてこれらを前記可動式センサー保持部品で保持した可動式センサー組立部品を、前記リモコン受信部品とともに基板固定部品に取り付けて基板固定組立部品を形成し、該基板固定組立部品を前記本体に取付けたことを特徴とする請求項4記載の空気調和機。

【請求項6】

前記基板固定部品に配線の保持片を設け、前記配線を前記保持片を介して制御基板に導くようにしたことを特徴とする請求項5記載の空気調和機。

【請求項7】

前記リモコン受信部品を前記基板固定部品に固定する固定部品を設け、該固定部品にフック部を設けて、該フック部によって前記リモコン受信部品からの配線を前記基板固定部

品に固定するようにしたことを特徴とする請求項 5 または 6 記載の空気調和機。

【請求項 8】

前記前面パネルが透明樹脂で成形され、裏面に塗装または印刷処理が施されたことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の空気調和機。

【請求項 9】

前記可動式センサー及び可動式センサー保持部品が、前記本体の吹出口の上側中央部分付近に取り付けられるとともに、前記前面パネルの下部の中央部近傍に開口する逃がし部から前記可動式センサーが外部に臨んでいることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の空気調和機。